

茎葉多収の稲発酵粗飼料専用水稻新品種「山形飼糯^{もち}138号」の育成

山形県農業総合研究センター水田農業研究所

研究のねらい

稲発酵粗飼料（イネホールクロップサイレージ(イネWCS)）専用水稻品種は、わら重等が多収ではあるが、出穂期が極端に遅く、十分に実らないため、県内での種子生産に課題があった。そこで、わら重に優れ、成熟期が「はえぬき」と同等で、県内で種子生産が可能なイネWCS専用水稻品種「山形飼糯138号」を育成した。

研究の成果

- ① 出穂期、成熟期が「ふくひびき」より7日遅い“中生の晩”で「はえぬき」と同等の成熟期である。稈長は「ふくひびき」より長い“長稈”で、草型は“中間型”である。ふ先色が“褐”、籾色が“茶”であり、主食用品種との識別性がある（表1、写真1、写真2）。
- ② 圃場でのいもち病の発生は少なく、耐冷性は“中”、穂発芽性は“やや難”である。
- ③ 「ふくひびき」と比較して、わら重が多く、籾重が明らかに少ないため、籾わら比が小さい（表1）。
- ④ 出穂後35日頃のショ糖含量が高く、「ふくひびき」と比較して、乳酸発酵が良好であり、イネWCSとしての適性がある（図1）。

表1 「山形飼糯138号」の特性（育成地 標肥 平成26年～令和2年）

品種系統名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	ふ先色	籾色	全重 (kg/a)	わら重 (kg/a)	籾わら比 籾重÷わら重	玄米千粒重 (g)
山形飼糯138号	8.03	9.11	86	27.4	315	褐	茶	148(99)	103.7(155)	0.43	18.9
ふくひびき	7.27	9.04	67	19.3	435	白	黄白	149(100)	67.0(100)	1.24	23.6



写真1 成熟期の稲株及び穂
(令和2年、それぞれの画像で
左:「山形飼糯138号」、右:「ふく
ひびき」)



写真2 籾
(上:「山形飼糯
138号」、下:「ふ
くひびき」)

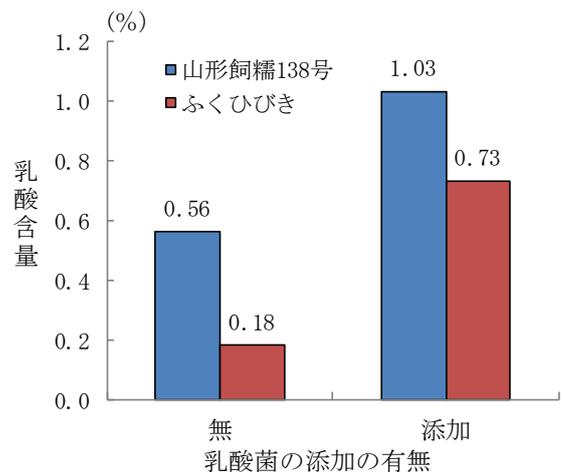


図1 サイレージ中の乳酸含量
(畜産試験場 平成27年)